

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-22

秋山家文書調査報告

法政大学, 近世史研究会 / HOSEI UNIVERSITY, Kinseishi-Kenkyukai

(出版者 / Publisher)

法政大学史学会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政史学 / 法政史学

(巻 / Volume)

28

(開始ページ / Start Page)

122

(終了ページ / End Page)

129

(発行年 / Year)

1976-03-23

秋山家文書調査報告

法政大学近世史研究会

一、秋山家文書解題

〔調査概要〕

秋山家文書は現在東京都港区三田四―二一―六大増寺（住職秋山義邦氏）に所蔵されている。秋山家は後述するごとく旧八王子千人同心組頭を代々勤めた家で、保存されている史料は大部分が千人同心関係のものである。

秋山家文書についてはすでに「千人同心関係文書目録」（『多摩文化』第一〇号掲載）の中でその一部が紹介されているが、今回の調査の結果、新たに多数の史料が発見されここに目録化されることになった。

この度新たに発見されたものを加え目録化された史料の総点数は一〇〇点であるが、史料の性格および残存状況から目録の項目は「先祖書」関係一つを立て、それ以外の史料は編年形式で統一・分類した。今回の調査では時間の関係などもあり、史料一点づつについて目録化し袋に詰める作業を行ない、数点のみについては写真撮影をしたが、解説などの作業はまだ行なえなかった。

〔秋山家系譜〕

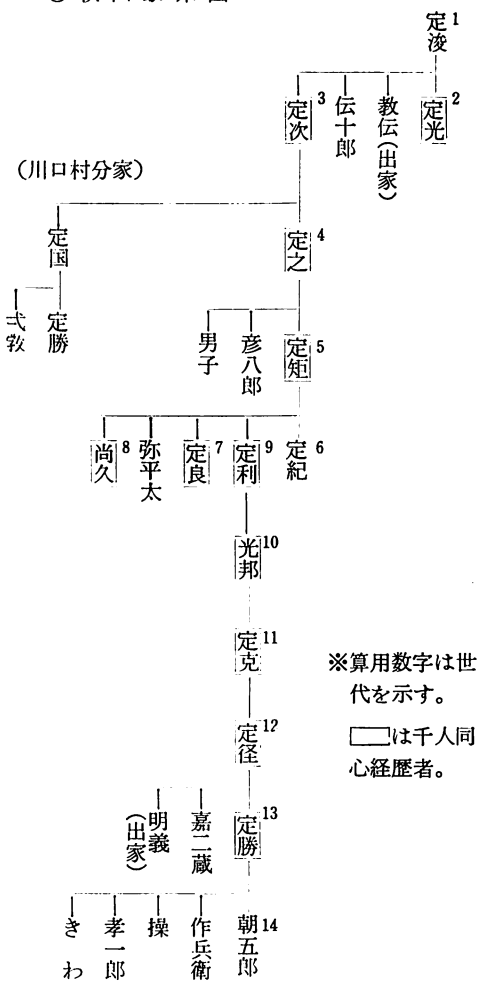
秋山家文書の性格を知る上から秋山家の系譜について多少触れておくことにする。秋山家の系図は文政七年作成の「家系」によると次頁のようになっている。

この「家系」と嘉永二年閏四月作成の「由緒書」を比べてみると若干の相違点があるが、ここでは由緒書などをもとに代々の秋山家の当主のなかで千人同心組頭役に任命されたものの事蹟について簡単にみて行くことにする。^(註)

秋山家が八王子千人同心組頭役を勤めるようになったのは二代定光（彦兵衛）の時代からで、武田信玄・同勝頼に仕え鎗組を勤めた定光は天正一〇年（一五八二）石坂菅兵衛組に召し出された。そして、彼は天正一八年家康の関東入部に伴ない八王子の拝領屋敷に居住するようになり、その後、奥州、名護屋、関ヶ原、大坂の各地に転戦し度々銀子を賜わっている。

三代定次（喜左衛門）も組頭役を仰せ付けられ寛永九年（一六六三）三月の日光社参に供奉し、慶安五年（一六五二）六月には日光火之番を勤めている。定次には二男あり、長男定之（喜左衛

○秋山家系図



※算用数字は世代を示す。
 □は千人同心経歴者。

門)が万治三年組頭役を仰せつけられ千人同心となるが、次男の定国(定右衛門)は多摩郡川口村に分家している。
 五代定矩も引続き組頭役に任ぜられ宝永二年(一七〇五)正月には「江戸火消」を命ぜられているが、六代定紀(忠藏)は三〇歳という若さで亡くなっているため千人同心にはなっていない。
 定紀に代って跡を継いだのは弟の定良(喜与右衛門)で、彼の代になると享保二〇年(一七三五)七月千人頭石坂彦三郎が故あって改易されたため窪田庄兵衛組に属することになり、その後定良には子供がなかったので弟尚久(平右衛門)が八代目を継いでいるが、九代定利(喜左衛門)の時に至り再び石坂彦三郎組の所属

秋山家文書調査報告

となっている。
 一〇代光邦(茂左衛門)は日光火之番を勤め、日光神橋の普請を命ぜられ、一代定克(喜左衛門)は『新編武蔵風土記稿』作成の調査員として「武蔵国地誌搜索御用」を勤め手当銀を給与されている。
 一二代定徑(喜左衛門)は慶応四年(一八六八)八月四日、官軍より護境隊頭取に任ぜられたが故あって九月同役を免ぜられ、孫の

朝五郎もまた護境隊を罷免させられ、一〇月甲州巨摩郡芦倉村名主重兵衛へお預けとなっている。これと時を同じくして蝦夷地に移住していた一三代定勝(幸太郎)は官軍に属し旧幕府軍と戦っているが、明治元年(一八六八、九月八日改元)一〇月二四日の箱館五稜郭付近の戦いで戦死している。
 その後、一四代朝五郎は新政府の軍隊に志願し、明治一〇年の西南の役には熊本県球磨郡人吉方面に派遣されている。
 (註) 秋山家の幕末維新期の事蹟については鈴木龍二「八王子千人同心余話、官軍三代秋山家の秘密」(『多摩文化』創刊号)、『八王子市史』下巻などで詳述されている。

【文書概要】

「編年」項目では天正一〇年二月を上限として明治期におよぶもので、秋山家に関するものが圧倒的な数を占めているが、特に年代的にみると近世前期に集中しており千人同心関係文書としては良質のものである。これら編年項目のなかで注目すべきは天正一〇年二月「石坂管兵衛同心廿二人」の同心給を示したもので、元禄一二年九月の石坂彦三郎組の「千人組同心統之書付」であろう。特に後者は成立期および元禄期の千人同心の出身別別みた組織成を理解することができる。

さらに元禄二年二月の「千人同心株」引渡しについての一札や、正徳五年一月の病気のため「同心株」を譲るについての一札は江戸時代前期における千人同心株の売買の実態を考える上で重要なものである。

編年項目のなかでも明治以降の史料が多く残されており、維新後の旧千人同心の動向を知る上で貴重なものがあるが、とりわけ明治二三年一月および明治一四年七月に東京府知事宛に提出された秋山喜左衛門の「(息子戦死ニ付御救助願書付并履歴書綴)」などは当時の秋山家の事情を克明に記しており、旧千人同心の生活状況などを知ることができる。

また明治一〇年四月から六月までの西南の役の戦況報告は秋山家一四代目の朝五郎が、新政府の軍隊に入り西南の役に従軍した折、戦地から祖父、叔父宛に差し出した書簡であり、西南戦争従軍兵士の記録として興味深いものがある。

「先祖書」の項目では文化一二年二月の「石坂先祖書」、天保

三年五月「河野家先祖書」、天保一〇年「萩原公先祖書」、天保一〇年「山本公先祖書」、天保一〇年一〇月「秘他見志村公先祖書」、天保一〇年一月「中村公先祖書」、天保一〇年一月「原公先祖書」、天保一〇年二月「東窪田公先祖書」、天保一一年八月「西窪田公先祖書」、「西萩原公先祖書」(天保期)など八王子千人頭一〇名についてそれぞれ個別に先祖以来の事績を記した史料が残されているが、現在、河野氏関係以外は見ることができないことから非常に貴重なものと思う。

(文責 馬場憲一)

(註)

村上直編『八王子千人同心史料』一四一―一七頁。

二、秋山家文書目録

(1) 「編年」項目

番号	年	代	表	題	差出人(作成者) ↓ 請取人	形態・数量
一	天正一〇年二月二日		石坂管兵衛同心廿二人(同心給) 同心衆御給定之日記(写)		石坂管兵衛	縦帳 1
二	文祿二年一月九日		(付) 甲斐信玄様之御事 御上洛并日光山江御供之覚書 (千人同心年次記録)		石坂忠兵衛	縦帳 1
三	元和六年五月二八日		知行高同心御切米高		千人頭	縦帳 1
四	寛永一二年四月 天明七年五月		寛渡申畑之事		八郎右衛門他二名 ↓ 平右衛門 八木宿田沢才兵衛他二名 ↓ 石坂勘兵衛様御組 秋山喜左衛門	縦帳 1
五	慶安元年三月十五日		指上申一札之事		散田村畑渡シ主太郎左衛門他四名 ↓ 秋山喜左衛門尉	縦帳 1
六	寛文一二年九月一八日		年季ニ相渡し申畑之事		勘兵衛使官崎徳右衛門、戸長伝右衛門 ↓ 秋山喜左衛門	縦帳 1
七	延宝六年六月		屋敷禿渡し手形		勘兵衛 ↓ 秋山喜左衛門	縦帳 1
八	延宝八年八月一七日		(天和三年年貢払金受取)		長坂善兵衛他二名 ↓ 青木太兵衛	縦帳 1
九	貞享元年七月四日		(同心株引渡ニ付一札)		風祭清左衛門他二名 ↓ 秋山彦八郎	縦帳 1
一〇	貞享元年一〇月二〇日		入置申質物之事		石坂彦三郎組	縦帳 1
一一	元禄二年一二月		千人組同心統之書付		秋山安左衛門他二一名 ↓ 鍵奉行	縦帳 1
一二	元禄一一年四月一日		八王子千人組同心之由緒石坂彦三郎組百人之内		秋山水月	縦帳 1
一三	元禄一二年九月		式拾老人御譜代御訴詔ニ罷出申候願書		内川源内 ↓ 前山文左衛門	縦帳 1
一四	元禄一三年二月一五日		覚(御切米、御扶持方ニ付)			縦帳 1
一五	元禄一四年一二月四日		一札之事(病氣ニ付跡式渡候一札)			縦帳 1
一六	正徳五年一二月二九日					縦帳 1

一七	享保一二年七月	石坂彦三郎組分限帳	石坂彦三郎	縦帳	1
一八	享保一六年六月二五日	相渡申御扶持御切米之事	佐藤文右衛門他二名↓秋山富八郎	状	1
一九	享保二〇年八月二四日	(坂本家先祖書)	↓十村勘六	状	1
二〇	延享二年一月	日光飛脚順番江戸御切米順番并雜用駄賃払江 戸順番覚帳、日光最合金飛脚錢覚、代番御頭 江目見江遺物日光用金覚 乍恐以書付奉願上候覚	秋山平右衛門他十名↓窪田庄兵衛 奥岳寺↓秋山市左衛門	横帳	1
二一	元文五年二月	御普請小屋勤番覚帳	秋山茂左衛門	状	1
二二	宝曆一年五月	千人組同心御切米高覚帳	秋山定徑	横帳	1
二三	明和八年	由緒書(秋山茂左衛門家)	長田甚左衛門	横帳	1
二四	天明二年七月	千人頭同隊之者、甲州伝来古書並古器物写	本間伴介↓秋山此右衛門	状	2
二五	寛政二年九月	松平和泉守殿被成御渡候御書付他一	信濃↓南部右近殿	状	1
二六	文政一〇年六月(享)	覚(扶持方手形ニ付)	秋山茂左衛門	状	1
二七	子 四年	(歳暮御礼ニ付礼状)	秋山明義(代筆)	縦帳	1
二八	戊 十一月一七日	(端午之祝儀礼状として)	河原崎權之助↓中村屋福	状	1
二九	正月七日	親類書	秋山喜左衛門	縦帳	1
三〇	(江戸期)五月六日	北条氏照戦死(小田原城落城時戦死者名写)	隊長↓伍長代務一等卒秋山朝五郎	状	1
三一		(本籍預り旅費用立に付書状)	秋山喜左衛門	縦帳	1
三二		御一新被仰出条々(五人組その他)	秋山喜左衛門	縦帳	1
三三	(明治期)	鋪金預之証(座茶屋敷金)	秋山喜左衛門	縦帳	1
三四	明治元年九月	浦団代金并料義滞催促之訴	秋山喜左衛門	縦帳	1
三五	明治七年六月二八日	(隊書記代務申付書)	秋山喜左衛門	縦帳	1
三六	明治七年九月二日	(秋山朝五郎軍隊関係経歴綴)	秋山喜左衛門	縦帳	1
三七	明治七年一〇月七日	(夜具浦団料催促之訴)	秋山喜左衛門	縦帳	1
三八	明治七年一三三年六月	(西南の役大隊書簡掛申付書)	秋山喜左衛門	縦帳	1
三九	明治九年六月		秋山喜左衛門	縦帳	1
四〇	明治一〇年四月一五日		秋山喜左衛門	縦帳	1

秋山家文書調査報告

四一	明治一〇年四月〜六月	(西南の役戦況報告など戦地書簡一括)	秋山朝五郎↓秋山喜左衛門	縦帳	1
四二	明治一〇年七月五日	(西南の役戦況報告)	秋山朝五郎↓秋山喜左衛門、秋山明義	縦帳	1
四三	明治一〇年八月三日	(西南の役戦況報告)	秋山朝五郎↓秋山喜左衛門	縦帳	1
四四	明治一〇年九月九日	盗難御届	秋山喜左衛門	縦帳	2
四五	明治一〇年一〇月八日	(雇人身元引受ニ付)	秋山喜左衛門↓中野安次郎	縦帳	1
四六	明治一〇年一〇月	(秋山幸太郎戦死ニ付書付下書)	秋山昭義↓芝区長相原安治郎	縦帳	1
四七	明治一二年一〇月一八日	寓居御届	秋山孝高↓区長相原安次郎	縦帳	1
四八	明治一二年一二月三日	送籍願	秋山朝五郎↓陸軍大佐岡沢精	縦帳	1
四九	明治一三年七月五日	(結婚許容願書)	秋山朝五郎↓芝区長前田利充	縦帳	1
五〇	明治一三年七月一二日	(通元院阿野密門方寓居届)	秋山喜左衛門↓実父香月賢藏↓	縦帳	1
五一	明治一三年一二月二日	養女差上申約定証	実父香月賢藏↓	縦帳	1
五二	明治一三年一月 明治二五年三月	草稿(寄留届、戸籍書等綴)	梶葉齊	縦帳	1
五三	明治一三年一月 明治一四年七月	(息子戦死ニ付御救助願書付并履歴書綴)	秋山喜左衛門↓東京府知事松田道之	縦帳	1
五四	明治一四年一月七日	(子供病氣ニ付延着願)	秋山喜左衛門↓開拓使函館区第四組	縦帳	1
五五	明治一五年四月一〇日	歎願口書(扶助料歎願)	秋山喜左衛門↓東京府知事松田道太	縦帳	1
五六	明治一六年七月一日	履歴書	秋山朝五郎	縦帳	1
五七	明治一六年一月七日	(秋山朝五郎履歴書)	秋山朝五郎、秋山昭義↓	縦帳	1
五八	明治一七年七月一五日	年齡更正願書御願下ケ之儀ニ付願	東京鎮台幕僚書記、歩兵曹↓太政官	縦帳	1
五九	明治一七年一月二四日	(叙勲ニ付履歴書)	賞賚局長秋山朝五郎	縦帳	1
六〇	(明治二八年カ)	廿八年度出方簿(一〜一二月迄一年分)	池寶山	横帳	1
六一	明治二九年一月二九日	陸軍兵籍(秋山朝五郎)	新発田衛成病院長 丸山真方	縦帳	1
六二	明治二九年一月三〇日	死亡証書(秋山朝五郎)	宮内大臣土方久元↓秋山朝五郎	縦帳	1
六三	明治二九年一月三〇日	従六位叙任証書		縦帳	1
六四	(明治二〇年以後)	(秋山朝五郎家族下婢書上)		縦帳	1

(2) 先祖書

八一	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五
大正七年二月一九日	大正七年二月一九日	(明治期)	(明治期)	(明治期)	(明治期)	(明治期)	(明治期)	(明治期)	(明治三七年、昭和三年)	(明治期)	(明治期)	(明治期)	(明治期)	(明治期)	明治三三年六月二二日	明治三〇年六月七日	
戸籍謄本(秋山朝五郎) (未整理)	規則書(左右大臣以下の官禄規則)	規則書(左右大臣以下の官禄規則)	規則書(左右大臣以下の官禄規則)	規則書(左右大臣以下の官禄規則)	規則書(左右大臣以下の官禄規則)	規則書(左右大臣以下の官禄規則)	規則書(左右大臣以下の官禄規則)	規則書(左右大臣以下の官禄規則)	陸軍兵籍	陸軍兵籍	陸軍兵籍	陸軍兵籍	陸軍兵籍	陸軍兵籍	陸軍兵籍	陸軍兵籍	陸軍兵籍
大藏省 東京市芝区長古橋幸正	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省	大藏省
一	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦	縦
括	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

番号	年代	表題	差出人(作成者) ↓ 請取人	形態・数量
一	享和三年二月	由緒書(文政五年九月御目付衆より加筆相濟下 少写)	秋山喜左衛門	縦帳 1
二	文化一二年二月	石坂先祖書	石坂桓兵衛	縦帳 1
三	文政七年七月	川口村秋山氏家系	秋山茂左衛門定徑	縦帳 1

